

令和 5 年度第 6 回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和 6 年 1 月 19 日（金曜日） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 50 分

開催場所 立川市女性総合センターアイム第 2 学習室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大橋 正則 委員
柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員
難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 来住野 清子 委員
岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員

[市 長] 酒井 大史

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋

同 管理係長 加藤 暁子

同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0 名

- 次第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 諮問「立川市第 7 次生涯学習推進計画策定に向けた検討について」
 4. 協議事項
 - (1) 立川市第 7 次生涯学習推進計画策定に向けた検討について
 - (2) 令和 5 年度第 4 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 5. その他
 - (1) 第 11 期立川市生涯学習推進審議会委員の任期満了について

- 配付資料
1. 立川市第 7 次生涯学習推進計画における振興方策について
 2. 令和 6 年度生涯学習推進審議会 主な議題及びスケジュール（案）
 3. 令和 5 年度第 5 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）

会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 諮問「立川市第 7 次生涯学習推進計画策定に向けた検討について」
酒井市長より諮問文の読み上げ、あいさつ
4. 協議事項
 - (1) 立川市第 7 次生涯学習推進計画策定に向けた検討について
(会 長) 事務局より説明をお願いいたします。
(事務局・センター長) 先ほど市長から諮問がございましたので、皆様でご検討いただきたいと思っております。資料 2 の中に「立川市における生涯学習の振興方策について（答申）」という令和元年 11 月のものがございまして、こちらがご提出していただいた形となります。どのように答申をいただくかと言いますと、13 ページ

をご覧ください。「施策の体系」とございまして、まずこちらを考えていただくこととなりますが、ここの部分につきましては事務局で案を考えさせていただきたいと思っております。第6次計画では施策の目標は3つ、施策の方向が3つ、1つ、3つとそれぞれ分かれておりまして、具体化の取組みがさらにぶら下がっていて、重点施策と共に示している状況です。「生涯学習社会の実現-市民の共学・協働に育まれたまちづくり」ということで、こちらをベースに骨格を作って、皆様にご議論いただくことになるかと思っております。第7次計画がどうなると言いますと、ベースの部分はあまり変わらないと思っておりますが、組み換えですとかデジタルデバインドなどの新しい要素が入ってくるかと思っております。先ほど市長から生涯学習推進本部のお話がありましたが、市長を本部長として、部長級の職員が本部員となって議論を進めてまいります。昨日、推進本部を開催しまして、スケジュールと当審議会との関係性などを説明し、キックオフすることをお伝えしました。推進本部の下に、幹事会や連絡会など、課長や係長で議論を進めてまいりますので、推進本部と推進審議会と両方で議論を重ねながら計画を作っていくという流れとなります。この後、スケジュールやアンケートの結果について、大須賀からご説明をさせていただきます。

(事務局・管理係員) 引き続き資料2をご覧ください。先ほどからご説明のあった通り、諮問をいただきましたので、答申を作っていくこととなります。今年度に関しましては、今日がスタートとして、3月にもう一度ございまして、今年度は2回、来年度は11月までに6回開催する予定になっておりますので、全8回で作成していただくこととなります。資料2と書いてある、縦版のスケジュール(案)をご覧ください。会議の開催予定月とその時の議論の内容が記されております。真ん中の答申作成のところに予定は入れておりますが、こちらは進捗状況に応じて、ずれこむ可能性があります。4月に体系案の検討とありますが、5月には体系案の確定をしたいので、次回から議論を開始したいと考えております。進め方に関しましては、センター長から説明のあった通り、事務局で案を作成して、それを見ていただいて具体的に修正案をいただきながら進めていくことを想定しております。ただし、長期総合計画、推進本部、センター内部でも同時並行で議論をしていく関係で、ここで出たご意見と違う方向性のご意見も出てくる可能性があることもご承知おきいただければと思います。11月に答申をご提出いただいた後に計画の素案を作っていくことになるのですが、答申を十分に尊重しながら素案を作っていくのですが、内容が変更されていくことも十分にあります。そこに関しましては、情報提供であったり、変更になった理由などの説明は随時行ってまいりますのでご理解いただければと思います。ここも先ほどのご説明で触れていますが、前回の答申の資料について、この形で答申をいただくかも決まっていはいないのですが、3、4ページが第1章となっていて、過去こういう取り組みをしてきました、現在はこういう状況です、なので今後はこういうことに期待したいという総論的なものが書かれていて、その後5ページ以降は13ページに書かれている体系についての詳細な説明となっておりますので、体系の枠組みを決めた後に細かい部分について、どういう内容が記されていくのかという議論をしていくこと

になるかと思えます。同じ流れで行えばのお話ですが、このようなやり方を前回しておりました。内容や進め方を想定しているのはこの程度なのですが、スケジュール（案）を見ていただくと、前半部分に審議会の開催日を固めております。5年に一度のこのタイミングでは毎回そうしていますが、分散して開催するのが難しいので、ご理解いただければと思います。それと毎年9月頃にスタートを切っている進捗評価につきましても後半になってくると審議会の開催回数が減ってきているということと計画が大詰めというところもあるので、早めに始められればと思っております。5月の開催では評価委員を決めさせていただいて、6月に決算が固まったら、我々が資料を作成して、皆様にご意見出しをしていただくような形で進めさせていただきます。計画策定と進捗評価が被ってしまってお忙しくなってしまうかもしれませんが、負担になりすぎないようにご提案させていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。もう一点資料がございまして、前回と前々回のフリートークのご意見をまとめたものを配布いたしました。今使うものではないのですが、審議を進めていく中で、こういったご意見があったということをご適宜振り返っていただいて、ご活用いただければと思います。アンケートは後程ご説明しますので、私からの説明は以上となります。

(会長) ご説明ありがとうございました。スケジュールに関しましては、今期の委員任期は今年度いっぱいとなります。実際にスケジュールに則って議論していくのは次期の委員ということになります。体系を検討してその後本文を検討するという流れでたたき台は事務局が準備しますという説明がございましたが、進め方についてもご意見があればいただきたいですし、内容についてもこの審議会として出す意見というのは、庁内で出される意見とは違った観点で提出することは可能です。どのような事業をやるのか、どのような活動をするか、立川の生涯学習としてどのようなものを目指していくのかを整理したものが体系ということになります。具体的にどのようなものを目指すのか、どのようなものが不足しているのか、今後どのようなものが必要なかを踏まえて体系の検討に入っていくのかと思えますので、次回次回議で、次期で検討いただくことを念頭に置いて今期のまとめを兼ねて、ご意見をいただきたいと考えておりますので、どのような振興方策が必要かということについて整理しておいていただければと思います。このことについてご質問、ご意見等いかがでしょうか。

(事務局・センター長) 一点補足させていただきます。上位計画にあたる立川市第4次長期総合計画が令和6年度で終わりました。令和7年度から第5次計画が始まります。先ほど大須賀からも話がありましたが、10年間の長期総合計画が同時にスタートすることになります。様々な計画策定が同時並行で進む中で、全体の計画の中で生涯学習がどのような立ち位置になるのかという議論もしていかななくては行けないので、スケジュール感や進め方が変わる可能性もゼロではありません。例えば、長期総合計画の体系に変更があつて、その影響で後ろ倒しになったり、議論の回数を増やしたりしなくては行けないかもしれませんので資料は案ということでご理解いただければと思います。

(会長) ありがとうございます。そのほかございますか。(なし) それではアンケートの

結果を事務局よりお願いします。

(事務局・管理係員) 資料 2 の中にホチキス止めの資料が 2 つございます。集計結果の単純集計のもの、経年比較・クロス集計というものです。今後計画を策定していく中で、この意見を参考にしながら作っていくものになりますが、本日はすべてご説明する時間がありませんので、皆様に各自見ていただくことを前提とさせていただきながら、特徴がよく出ている経年比較の方の資料を説明いたします。単純集計の方は 1~33 までのすべての設問が載っているもので、必要に応じて見返してみてください。さっそく一枚めくっていただいて令和 5 年度と平成 30 年度を比較しまして、期間や対象者は同じように実施しまして、回答者が 581 人で、うち LoGo フォームが 169 人、郵送が 412 人、前回は 629 人郵送でご回答いただいております。回収率は前回より少し下がってしまいましたが 29.1%という結果となります。続いて 4 ページです。性別の設問と年齢の設問がありますが、性別については前回とほぼ同じで女性が 6 割、男性が 4 割という構成比になっています。年齢については少し前回と違った特徴が出ています。前回は 64 歳以下の回答者割合が 58.95%だったのですが、今回は 66.26%ということで、若い方の回答が増えています。その要因の一つとして考えられるのが、LoGo フォームを導入して、回答者のうち 64 歳以下の割合が 87%ということで、若い方に限定して使われているような傾向がありまして、その割合が強く出ているのかと思います。ここで年齢の構成比が変わったことで、年齢の差が出る性質の質問には影響を及ぼしやすいということを念頭にご覧いただければと思います。続いて 8 ページです。「あなたは、この 1 年くらいの間にどのような生涯学習をしましたか」という設問です。設問を分解しまして、この 1 年間くらいの間に生涯学習をしたことがあるかないかを抽出しました。大きな変化はありませんが、前回より少しだけ「ある」と答えた方の割合が増えました。右側の表ですが、生涯学習をしたことがある人のうち、どのような生涯学習をしたかという問ですが、全体の傾向に大きな差はあまりありませんが、①④⑦が多い傾向にあります。前回と比較すると⑧の情報端末やインターネットに関することをした方が 10.86%から 20.21%ということで 2 倍近く増えていることがわかります。コロナが影響して、オンライン学習が普及したことがここに表れているものかと考えております。続いて 9 ページです。生涯学習をしたことがある方について、どのような場所や形態で行ったかを問う設問です。下から 3 個目の選択肢の「インターネット」が伸びていまして、50%の方が回答しています。令和 5 年度では 440 人の方が回答しているのですが、そのうちの半数の方がインターネットを使用した学習をしているということになります。それに次いで「書籍や雑誌など」も高くなっております。どちらも個人でできる生涯学習ということを踏まえつつ、一番上の選択肢の地域学習館等で行われる講座や中段付近にあるサークル活動の選択肢は前回より減っています。個人でできる学習は増えているけれども集まって行うようなものに関しては減っているような傾向がみられました。続いて、12 ページをご覧ください。今度は生涯学習をこの 1 年間でしたことがない方への問です。「あなたが生涯学習をしていない理由は何ですか」というものですが、左側のところ、年代ごとの割合では、年代ごとの

偏りはなくてどの世代も 20%前後生涯学習をしたことがない人がいるということが傾向として表れておりました。右側の生涯学習をしていない理由については、下から 3 つ目の「きっかけがつかめない」は今年のアンケートから追加した選択肢でして、一番多く選択されております。次いで「仕事が忙しくて時間がない」となっております。その下の「家事・育児・介護が忙しくて時間がない」の選択肢が前回より 7 ポイントほど増えているのですが、今回のアンケートから「介護」というワードを追加しております。その影響も出ている可能性がございます。続いて 14 ページです。「あなたは、生涯学習に関する情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか」という問ですが、「立川市ホームページ」「情報端末やインターネット」「LINE や YouTube などの SNS」といったインターネット関連の選択肢は比較的高い傾向にあります。「立川市が発行する広報・チラシ・ポスター」は人気が高い状況にありますが、一つ上の「立川市が発行する生涯学習情報誌『きらり・たちかわ』」と「新聞、雑誌」と一緒に、紙媒体のものは前回よりは低い傾向が出ていました。続いて、15 ページです。「あなたは、人々の生涯学習をより盛んにしていくために、立川市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。」という問いでは、⑥⑦⑩⑪番ということで、カテゴリで見ると、講座や情報発信に関心があるかなという印象です。それと補足で、⑥の前の回答が 43.30%と群を抜いて高いのですが、前は⑥と⑦の選択肢が一つになっておりました。立川市のホームページを充実させることと講座をインターネットで予約できることは別物かと思しますので、分けた結果なのですが、偏りはあまりなくどちらも高いという結果となりました。続いて 16 ページです。ここからがクロス集計をしたものとなります。「生涯学習がどのような場所や形態で行われているかと年代」の関係です。横軸が年代を示しています。特徴としましては、「書籍や雑誌など」については年代の偏りはあまり大きくなく、書籍等を用いて学習をされている傾向にあります。続いて年代に着目して見ていくと、一つ上の「インターネット」ですが、20代から 64 歳くらいの方までで高い傾向を示していき、年齢が高くなるにつれて低下していきます。続いて 70 代以降の方たちはどういったところで学習しているのかというと、中段付近、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」の数値が 18.60%、16.46%、22.73%ということで非常に高い割合をしている一方で、69 歳以下の方は一桁台ということで割合に開きが見受けられます。それと一番上の選択肢、「地域学習館や女性総合センター・アイム、体育館などの公の機関における講座や教室」では 59 歳以下のところでは 5%、60 歳以上になると 10%、12%と徐々に高くなる傾向がありました。続いて 17 ページです。「生涯学習をしたことがある人の活動内容と今後してみたい活動内容の比較」ということでクロスというよりは比較になってしまいますが、横棒が 3 つ、一つの選択肢に対してありますが、一番上が「生涯学習をしたことがある人の活動内容」、真ん中が「生涯学習をしたことがある人が今後してみたい生涯学習」、一番下の棒が「生涯学習をしたことがない人が今後してみたい生涯学習」ということで違いがあるのかと思って集計してみたのですが、細かい違いはあるのですが、①②④は高い傾向にあって、生涯学習をしたことがあるとかないとかでの差はあ

まりないということがわかる部分かと思えます。続いて、18 ページです。「便利だ
と思う情報収集の方法と年代の関係性」です。下から 3 番目、4 番目を年代ごとに
見ていきますと、「情報端末やインターネット」と「LINE や YouTube などの SNS」
については 20 代、30 代では非常に高い割合占めています。続いて 40 代から 60
代までの方ですと、インターネットに加えて「立川市ホームページ」も便利な情
報収集として認知されているような状況です。さらに年代が上がっていくとイン
ターネットやホームページというのは割合が下がっていて、上から 2 番目と 3 番
目の「きらり・たちかわ」や「広報・チラシ・ポスター」が高くなります。年代
ごとに簡潔に言ってしまうと、若いうちはインターネットや SNS、少し上がる
とホームページやインターネット、70 代以降になると紙媒体を中心に情報収集が
便利だと思っているという結果が出ております。続いて 19 ページです。「たちか
わ市民交流大学の講座に参加してみたい人と年代の関係」ということで、下のグ
ラフにあるのですが、「参加してみたい人の年代の割合」です。50 代を頂点にして、
両端に行くにつれて下がっていくような状況がありまして、一番高くて 56.56%。
半数以上の方がこういった講座に参加してみたいと感じている一方で、一番上の
選択肢に、細かい違いはあるのですが、「地域学習館等の公の機関における講座」
というので、先ほど一番多かった 50 代を見ていただくと 5%しか参加していな
いことがわかります。参加してみたいという方と実際に参加している方との間に
大きな乖離があるような状況がありますので、そこは課題としてとらえられる部
分かと思えます。続いて 20 ページです。「生涯学習市民リーダーを利用してみた
い方と情報収集の関係」ということで、具体的なクロスをしてしまったのですが、
単純集計に出ていますが、生涯学習市民リーダーを知っていますかという設問に
対して、知らないと答えた方が 85%いらっしゃいまして、その後の設問で、「生涯
学習市民リーダーを利用してみたいですか」という間に 27%、約 3 割の方が「利
用してみたい」という回答がありました。利用してみたいとしつつもこれだけ多
くの方が知らない状況がありますので、利用してみたいと考えている方たちがど
ういった情報収集を求めているのかという観点からクロスをさせました。そ
の結果、「立川市が発行する広報・チラシ・ポスター」が最も多いという結果にな
りました。クロスする前の便利な情報収集の結果とあまり大きな差はありません
でした。続いて、21 ページです。「オンデマンドやオンラインを活用した市が主催
する講座に対する参加意向と年代の関係」についてですが、左側の「参加への意
向と年代の割合」をご覧ください。上から 20 代から 64 歳くらいまでの方は、オ
ンデマンドやオンラインで市が主催する講座に参加してみたいという方が 4~5 割
いらっしゃいます。それ以降は徐々に低下していくのですが、50 代から 80 代くら
いの方たちの真ん中の選択肢「参加してみたいが、オンデマンドやオンライン学
習をできる環境がない」という割合が高まって行って、80 代以上の方になると 27%
もの人が学習はしたいが環境がないという状況にあります。実際に参加してみた
い方、表で言うと左 2 つの選択肢はおおむね 40%程度の方が参加してみたいと考
えている方がいる一方で環境によって参加することが難しいと考えている方もい
らっしゃいます。先ほども出ていましたがデジタルデバイドと関連してくる部分

になるかと思えます。右側の表は少しは年代的な特徴があるのですが、あまり一貫性がなかったので各自見ていただければと思います。駆け足になってしまいましたが説明は以上となります。こちらのアンケートは今後計画策定していく根拠となりますので、今後答申を作成していく中で、クロス集計していけばわかるようなことがあれば随時集計しますし、皆様から「こことここをクロスすればこれが見えるのではないか」というものがあれば確認して情報共有させていただければと思いますので、もう少し活用していければと思っております。

(会長) ありがとうございます。まだ単純集計をご覧になれていないと思っておりますので、説明のあった部分について何かございますか。

(副会長) 9ページをご覧いただけますか。「書籍や雑誌など」を見ていただくと4割くらいですね。個人が行うものと講座みたいに行うものと生涯学習として一緒に聞くのはどうかと思うところがあります。自分で本を買って読むことを生涯学習と呼んで、こちらからは働きかけを行っていない人たちなわけですから、少し違和感があるのですが、どのように考えればいいのでしょうか。

(事務局・管理係員) そこを含めて生涯学習になってくるかと思っておりますので、選択肢には入れているのですが、インターネットや書籍などが高いというのと講座などが低いというのは比較してどちらが求められているかということではないと思っております。それぞれ選択肢毎に見ていく必要がありますし、関連性を持って見ていく類のものではないかと思っております。そのために複数選択という形式をとっています。確かに50%と18%という違いにインパクトが出てしまうかもしれないのですが、計画策定をしていく中で、ここを比較してどうのこうのと理論立てみたいなおことはしない方がいいかと思っております。

(会長) 一般的に実態把握のためにはこのような項目の作り方をしているかと思っております。社会教育ではなく生涯学習について聞いているので、多様な形態がありうる生涯学習ということで捉えていただければと思います。生涯学習と言った時にいくつか選択肢がないとイメージがわきにくい部分もあるかと思っておりますので、このような構成になっているのかと思っております。ありがとうございます。他にご質問ございますか。

(A委員) 質問ではなく感想になりますが、単純集計の31ページになりますが、生涯学習市民リーダーをご存知ですかという設問に対して、「知らない」が85%もいるという結果で、すべての選択肢の中で、「参加したくない」などの否定的な選択肢の中で、この回答が一番高くて、いかに生涯学習市民リーダーが知られていないかが如実に出てくるかと思っております。先日、自治連栄町支部で生涯学習市民リーダーフェアをやりますという話をしたかと思っておりますが、自治連の反省点として、市民リーダーがいることがわかってよかったという意見があった一方、市民リーダーを宣伝するパネルの展示をやった方がよかったという意見もあって、そういった考えがなかったのもったいないことしたなという反省がありました。普段から意識して学習館等で宣伝するような方向性に持っていければいいと思っておりました。

(会長) ありがとうございます。学芸大でも連携させていただいて、高松学習館、高松学習館運営協議会、市民リーダーの会と連携させていただいた講座でも同じよう

な話が出たかと思いますが、そもそも市民リーダーという人たちはどういう人なのかという声があって、保護者もいらっしやっただのに説明したり紹介したりしなかったねという意見が直後の反省会でも出るような状況でした。ただ、次のページの利用してみたいという方が 30%近い割合で出てきているので、活用してみたいという期待はあるのかと思います。次の計画にもぜひ活かしていきたいなと思います。結果をご報告していただきましたけれども、どの部分に着眼したり、どのデータを読み解くかということと、計画策定に向けてどのように提案していくかということについては、次回の会議でご意見いただければと思っております。質問について事務局にお寄せいただいて、ご意見については次回会議でいただければと思います。

(2) 令和 5 年度第 4 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 事前に確認をお願いしておりましたが、今回は口語体が多くなってしまったということで修正が多くなってしまい申し訳ございませんでした。訂正依頼をいただいた方は、今一度ご確認いただければと思います。内容を変更するものではありませんでしたが、確認するため来週の月曜日までお待ちいたしますので、ご意見がなければそれをもってご承認いただけたということでホームページに公開したいと思います。

(会 長) ありがとうございます。何かあればこの場で言うていただいて、なければ週明けまでに改めてご確認いただいて、何かございましたらご連絡をお願いします。

5. その他

(1) 第 11 期立川市生涯学習推進審議会委員の任期満了について

(会 長) 事務局よりご説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 議題には一つしか載せていないのですが、それ以外にもいくつかご報告がございますので、合わせてご説明いたします。一つ目が現在の第 11 期の任期が 3 月 31 日をもって任期満了となります。市民公募のお二方を除いた皆様には、ぜひ来期も継続していただきたく、封筒を配布いたしました。承諾書と団体からの推薦を受けて委員となっている方については、推薦書も同封しております。ご継続していただければということであれば、承認書もしくは承認書と推薦書を 2 月 20 日までにご提出いただければと思います。次回の生涯審のタイミングでは間に合いませんので、返信用封筒をつけさせていただきましたので、ご記載の上、返送していただければと思います。皆様、ご継続いただけるものと考えておりますが、様々なご都合等で継続が難しい場合はご連絡いただければと思いますので、よろしく願いいたします。同時に市民公募も行っておりまして広報の 1 月 10 日号に掲載をいたしました。今回から LoGo フォームでの応募もできるようにしましたので、周りにご検討している方がいらっしやいましたらご案内いただければと思います。それと封筒を置いている方につきまして、来期の予定表も置かせていただきました。今日お出しいただけるということであれば、ご提出いただいても

大丈夫ですし、メールでもご案内いたしますので、そちらからご回答いただいても大丈夫です。ご協力よろしくお願いたします。

二点目が、滝ノ上会館に Wi-Fi を設置いたしました。会館としては 2 か所目です。1 月 9 日から供用開始となります。前回導入した柴崎会館と同様に防災目的の導入となりますので、1 階の共用スペースの廊下に設置しております。1 階の集会室にも電波が届いておりますので、こちらをご利用いただける場合もご使用可能となります。先ほど防災目的と言いましたが、一般利用もできますので、SSID とパスワードは掲示してどなたでもご利用いただける環境になっております。

最後が、関東甲信越静社会教育研究大会の栃木大会に関してですが、B 委員にオンラインでご出席いただいたものになりますが、今日案内が届きまして、大会報告書を 500 円で販売しますというものです。ご興味のある方は、ご連絡いただければ振込先等の資料をお送りしますので、ご検討ください。B 委員につきましては、参加されておりますので、後日郵送されるまでお待ちいただければと思います。

(会長) 3 点ご説明があったかと思いますが、今のところでご質問等ございますでしょうか。(なし) 次回が今期の最終回ということになりますので、ぜひ、新しい生涯学習推進計画に向けたご意見を、2 年間で振り返る形でも結構ですし、アンケートを踏まえてでも結構ですので、ご提起をいただけて進めていきたいと思っておりますので、ご準備をお願いしたいと思います。ただし、会議時間もありますので、お一人 5 分を超えない程度に、この 1 ヶ月半程度の期間でご準備いただければと思います。そのほかはよろしいでしょうか。

(副会長) こちら回してもらってもいいでしょうか。(資料配布) オンライン講座を柴崎学習館でやってみようということで 2 月 10 日なのですが、毎年、戦争体験者に取材して記事を作っていて、それを利用して戦時下に立川の子供たちはどうだったのかというのをオンラインで行う練習をしました。やり直しをしたりして悪戦苦闘しましたが、自宅でも参加していただければと思い、配布させていただきました。

(会長) ありがとうございます。内容も方法も興味深いものだと思いますので、ぜひご参加いただければと思います。C 委員からも何かございますでしょうか。

(C 委員) 12 月 4 日の日に、防災講座を ZOOM で実施したのですが、職員が大変だったということと、プロジェクターが古いせいかわかりませんが画面に表示される字の大きさがおかしいということで、一斉には言いませんが少しずつでもそろえていっていただければと思いました。会場にいる人以外、事前に資料が配られていなかったの、質問の時間にうまく対応できなかったということがあったので、事前に資料を送っておいて見ながら聞いていただく方がいいかと思いました。これからオンラインが増えていって職員さんも大変だと思いますし、我々も覚えていけないといけないと思いますが、新しいものにするというのもそうですし準備が整っていれば、もっといいものになったかと思えます。

(副会長) センター長にぜひお願いしたいことがありまして、インターネットに詳しい職員の方がいらっしゃると思うのですが、学習館の職員が手探りでやっているよう

な状況なので、派遣できるようにしてほしいと思いました。

(センター長) 職員によって差があるような状況です。以前、学芸大学の学生さんにいろいろ教えていただいて、基本的なところは理解したつもりですが、実際にオンラインで講座を行ったところ資料が事前に共有されていないなどの問題があったりします。また、通信環境の問題や機器の問題もありますが、プロジェクターに関しましては、大きなモニターもご用意しておりますので工夫しながら行っていただければと思っております。技術の継承ができるように進めていかないといけないかとは思いますが、回数を重ねないといけないかと難しい部分がございます。通信環境に関しても大きく影響してしまうことがございまして、間に壁があると電波の直進性の問題から通信状態があまり良くないということもございます。環境を増強することも予算の要望の段階ではありますが考えておりますので、予算が認められるようなことがあれば状況が改善されてくるかと思っております。職員も良くしていこうという気持ちは持っておりますので、しばらくはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思っておりますが、よろしく願いいたします。

(会長) ハード面などの機器類もそうですし、ソフト面の職員さんの力量の問題や仕組みづくり、利用する側の市民、ボランティア、講師などのいろいろな課題がありますから、先行している幸学習館や柴崎学習館で具体的な課題を出していただいて、共有していただけたらと思います。他にございますでしょうか。

(D委員) 資料をあまり持ってこれなかったのですが、邨田丹陵さんの家が砂川町にまだ残っているのですが、大和絵の展示会をたましんの美術館で行っております。邨田丹陵さんの娘さんとは知り合いで金毘羅山に登ってよく一緒に遊んでいたのですが、このようなきれいな絵を描いているとは当時は知りませんでした。

(E委員) 大政奉還の絵を描かれた方ですよ。

(D委員) 大政奉還の絵は砂川町の家で書かれたそうです。今は明治神宮の外苑の聖徳記念絵画館に飾られているということなのですが、なぜ立川に来たかということと砂川家が招いたということで、砂川家にも代々伝わる絵がありまして、そちらは拝見したことがあります。展覧会は作品が多いので2回に分けて展示するというところで、2月の初めに立川市の副市長さんが邨田丹陵さんを語るということも企画されているようです。立川市民科の一環にもなるかもしれないと思っておりますし、お雛様の絵もあつたりしてきれいなので、PRさせていただきます。

(副会長) 私は市史編纂員でもありまして、そちらでも話をしたのですが、せっかく邨田丹陵さんの家があるのに活かさない手はないなと思ひまして、たまたま砂川家の現当主にお会いしまして、砂川さんの方でもどうにかしたいという思いはあるようなのですが、個人的にどうにかするのは難しいから市と連携してできないかという話がありました。文化財のようなものになると思ひますので、何か考えていった方がいいかと思ひました。

(事務局・センター長) 砂川家の蔵にいろいろなものが眠っているようです。邨田丹陵の絵ですとか砂川の大幟(おおのぼり)が見つかって、大幟については昭和記念公園内で揚げさせていただきます。市史編纂の方たちと文化財係と砂川家と連携して、ご当主が望めばの話ですが最終的には文化財の指定などもあるかと思ひま

す。今後調整できればと思います。

(副会長) あの絵は教科書にも載っていて誰でも知っていますからね。

(事務局・センター長) 何とか協力してと考えております。副市長は愛好家ということで絵を何枚もお持ちということだったので、愛好家の立場として講演を行うということでした。

(D委員) 砂川家には他にも貴重な文化財がある様子なので、市の援助で保存されると思います。

(事務局・センター長) 市としても働きかけをしていければと思います。

(会 長) ありがとうございました。地域の大事な文化財指定に関わる大事なテーマかと思えますので、今後も進めていただけたらと思います。そのほかございますでしょうか。(なし) 本日もありがとうございました。第6回生涯学習推進審議会を閉会といたします。次回は3月15日の金曜日にアイムでということです。ありがとうございました。